

ブータンに学ぶ途上国の伝統文化と その維持への努力



募集要項

プログラム名	ブータンに学ぶ途上国の伝統文化とその維持への努力
派遣先大学・機関名	ブータン王立大学シェラプツェ・カレッジ
研修先(国・都市)	ブータン王国タシガン県カンルン
派遣期間	2026年8月7日(金)～2026年8月25日(火) (19日間) 【現地到着】2026年8月9日(日) 【現地出発】2026年8月24日(月) ※予定 ※往復航空券は国際課が代理店を通して全員分まとめて手配します。 ※研修前後に個人的な旅行を含めることは認められません。
研修概要	豊かな自然と伝統文化を維持するブータンの状況と、その国づくり、近代化への国民的努力の経過を観察・学習するとともに、同国の大学生・大学教員と交流する。同国内 14 日間の日程では西ブータン(入出国するパロ空港)から東ブータン(シェラプツェ・カレッジ)を往復する。(伝統文化見学地:パロ, プナカ, トンサ, ブムタン, タシヤンツイ, 伝統産業見学地:ルンツイ, パロ, 自然保護見学地:ポプジカ, 大学・研究機関等見学地:ティンプー, ブムタン, カンルン) 参加学生は、自ら設定したテーマに従って事前・事後学習と現地観察を実施し課題レポートを作成・提出する。また、ブータン日程の前後にネパールの首都カトマンズに立ち寄り、2 日間にわたって言語と宗教文化が異なる同国についても観察することで、自然と伝統文化を地域比較する「文化の三角測量」ともいべき視点を獲得する。
滞在方法	シェラプツェ・カレッジではゲストハウスに宿泊し、食事はキャンパス内外の食堂等を利用。
参加費用	US \$ 1,155 ※往復航空券代・海外旅行保険料・その他諸経費は含まれません。 ※詳細は後述の「 ■その他注意事項 」を参照してください。
引率	あり
対象	全学部・全研究科・全学年 ※プログラム期間中に試験・再試・講義・実習のある学生は参加できません。
定員	2～7 名程度(人数が少ない場合は催行中止を相談することもあります。) ※定員を上回る場合、面接による選考が行われる場合があります。
奨学金	福井大学学生海外派遣支援金 :6万円 (ブータン) ※学業成績の受給要件あり。 ※予算の状況により、要件を満たしていても受給できない場合があります。
単位付与	2 単位
募集説明会	2026年5月21日(木)12:10-12:50 @文京キャンパス 学生交流センター2階 LC3 申込は こちら ※会場準備のため、事前申し込みをお願いします。(ただし、当日参加も可。) ※大学の Google アカウントでログインしてください。

UF-GLP ポイント	①説明会への参加 :【国際教養】 ポイント対象 ②プログラムへの参加 :【留学・海外研修(異文化適応力)】 ポイント対象 ※①②は積算可 ※UF-GLPとは?・参加登録はこちら・
学内参加申込方法	締切までに指定の書類を国際課に提出。 詳細は下記「 学内参加申込提出書類 」を確認すること。
問合せ先	福井大学国際課 学生交流担当 Eメール:studyabroad@ml.u-fukui.ac.jp TEL:0776-27-8404

■学内参加申込提出書類

・締切:**2026年6月18日(木)17:00** ※厳守

・提出先:国際課

(文京)学生交流センター1階

(松岡)管理棟1階学務課内

(敦賀)事務室1階

・申込方法:下記①~④すべての書類の送信・提出を以て参加申込完了。

《オンライン》

① [参加申込フォーム送信](#)

《紙で国際課へ提出》※A4判で揃えること。②③の様式は[こちら](#)

②「福井大学 短期海外研修プログラム 参加申込書」

※助言・指導教員(医学部生は学年主任)の自筆署名が必要(代筆不可)

③「誓約書」

※保証人の自筆署名が必要(代筆不可)

※保証人が遠方に住んでいる場合、郵送での対応が必要

④ パスポートの原本の写し

※未取得者は、記入済みの「[一般旅券発券申請書](#)」のコピー(氏名のローマ字表記があるもの)を提出。

[申請方法](#)についても確認すること。

■今後のスケジュール

5月21日(木)12:10~12:50	募集説明会
6月18日(木)17:00	学内参加申込締切
6月19日(金)以降	参加決定通知、航空券購入、参加費用支払
7月17日(金)13:00~15:00	危機管理セミナー ※対面参加必須
7月中旬	国際課オリエンテーション ※対面参加必須
渡航1週間前	事前課題提出
8月7日(金)~8月25日(火)	プログラム実施
帰国後10日以内	帰国後課題提出

■その他注意事項

参加費用に含まれる費用

・授業料

- ・滞在費
- ・研修先～現地滞在先間の交通費

参加費用に含まれない費用 ※変更の可能性有

- ・往復航空券代および関連費*1
- ・日本国内移動交通費
- ・空港送迎費(往復)
- ・海外旅行保険料*2
- ・危機管理サービス利用料*3
- ・参加費用支払手数料
- ・海外渡航申請手続費用(パスポート申請・ビザ申請など)
- ・海外用 SIM カード購入、レンタル Wi-Fi など海外でのインターネット通信環境整備にかかる費用*4
- ・手荷物超過料金
- ・その他個人的支出 など

*1 **往復航空券**:参加者確定後、国際課が代理店を通して全員分を一括で購入します。日本発着日、経路、乗換回数、前泊後泊の有無などは状況によって変わり、参加者決定後に参加者に連絡します。また、関連費には燃油サーチャージ、空港施設利用料、代理店手数料等を含みます。フライトは全員同じ便を利用するため、研修前後に個人的な旅行を含めることは認めません。できるだけ安価な航空券の手配に努めますので各種制約についてはあらかじめ理解してください。

*2 **海外旅行保険料**:大学指定の海外旅行保険(ジェイアイ傷害火災保険:取扱窓口 (株)アークスリーインターナショナル)への加入を全員必須としています。詳細は渡航約1カ月前に実施の国際課オリエンテーションで案内しますので、個人で別の保険には加入しないでください。

*3 **危機管理サービス利用料**:海外旅行保険同様、参加者全員加入必須の危機管理サービスです。有事の際の安否確認やトラブル時の相談窓口となります。申込方法等詳細は、国際課オリエンテーションにて案内します。

*4 **インターネット通信環境**:派遣先大学内および滞在先では無料でインターネットが利用できます。その他の場所や移動時の利用を想定した海外用 SIM カード等の購入は任意ですが、危機管理上、保険会社や大使館とのやりとりは電話連絡が基本となるため、海外でも携帯電話通話ができる状態・契約にしておくことを強くお勧めします。

■キャンセルについて

原則、参加申込以降のキャンセルは受け付けません。やむを得ない事情により参加をキャンセルする場合、プログラム費、滞在費、往復航空券代等にかかるキャンセル料は各手配先のポリシーマニュアルに基づき参加者の自己負担となります。